

23文科振第196号
平成23年8月19日

各国公立大学長
各国公立高等専門学校長
各大学共同利用機関法人機構長
関係各独立行政法人の長

殿

文部科学省高等教育局長

磯田文雄



(印影印刷)

文部科学省研究振興局長

倉持隆雄



(印影印刷)

研究機関における公的研究費の適正な執行等のための取組の
徹底について（通知）

大学等研究機関における公的研究費につきましては、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）について」（文部科学省科学技術・学術政策局長通知、平成19年2月15日付け18文科科第829号）や、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）に基づく体制整備及び運用の徹底等について」（同局長通知、平成22年2月25日付け21文科科第454号）等に基づき、適正な管理・監査に取り組むよう求めているところですが、昨今、一部の機関において、業者への預け金等研究費の不適切な経理が判明した事例や、外部からの指摘を受け事実関係の調査を行っている事例があります。

公的研究費の不適切な経理は、国民の税金を原資とする研究活動への国民の信頼を揺るがす重大な問題であり、誠に遺憾であります。

については、各研究機関におかれましては、公的研究費の適正な執行等について改めて徹底願うとともに、各研究機関の責任において、公的研究費の不適切な経理の有無について下記要領により調査の上、調査結果を別紙により提出願います。

なお、本調査結果については、文部科学省において取りまとめの上、公表することを予定しておりますので、念のため申し添えます。



記

1. 調査事項等

(1) 対象機関

文部科学省所管の以下の機関

国公立大学（短大を含む）、大学共同利用機関、
国公立高等専門学校、独立行政法人、放送大学学園

(2) 対象経費

研究活動のための公的資金（※）

※ 国や独立行政法人（他府省を含む）から交付される研究費、国立大学法人や独立行政法人における運営費交付金、私立大学における私学助成金などのうち、研究活動に使用した資金。なお、地方公共団体から交付される研究費や、公立大学（法人）における地方公共団体から運営費交付金等として交付される資金を含む。

(3) 対象期間

平成20年度～平成23年度（7月31日まで）

なお、調査の過程で、平成19年度以前の不適切な経理が判明した場合はあわせて報告すること。

(4) 調査事項

- ① 預け金及びプール金（※）の有無（別紙1）
- ② ①で「有」の場合、その時期、財源、金額等（別紙2）

※預け金：業者に架空取引を指示し、契約した物品が納入されていないのに納入されたなどとして代金を支払い、その支払金を当該業者に管理させるもの。

プール金：カラ出張や出勤簿の改ざん等により旅費や謝金等を不正に請求するなどして、その差額等を研究室や個人等が管理するもの。

(5) 調査方法

関係職員や取引業者への確認も含め、各機関の長の責任において適切と考えられる方法。

2. 提出期限

平成23年12月28日（水）

3. 本件問合せ先及び提出先

文部科学省研究振興局振興企画課競争的資金調整室

e-mail fusei@mext.go.jp

電話 03-5253-4111（内線3828、3827、3862）

（お問合せは、可能な限り E-mail でお願ひします。）

4. その他

別紙2の様式は、8月下旬に文部科学省ホームページの「研究機関における公的研究費の管理・監査」部分に掲載する予定です。

(http://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/08122501.htm)

(別紙1)

公的研究費の不適切な経理に関する調査結果について

研究機関名：
担当者職名：
担当者氏名：
電話番号：
e-mail：

預け金及びプール金の有無
(いずれかに○)

有 ・ 無

(注)「有」の場合、別紙2の「不適切な経理に関する報告書」を作成の上、あわせて提出すること。

不適切な経理に関する報告書

①研究者	②年度	③内容	④財源	⑤預け金、プール金をした金額 (単位:円)	⑥預け金、プール金の残金 (単位:円)	⑦私的流用のあった金額 (単位:円)	⑧備考
		〇〇金合計					

【記載要領】

- ・不適切な経理は個人毎・年度毎に記載する。1人の研究者が複数の財源をもって不適切な経理を行っていた場合、各財源毎に記載する。
- ・競争的資金等で複数年に亘って交付を受け、不適切な経理も複数年に亘っていた場合、年度毎に分けて記載する。
- ・個人別記載の最後に預け金、プール金毎に「合計額」と「行われていた年度」を記載する。合計額の記載欄は「2重線」で区切る。
- ・調査対象期間は平成20年度～平成23年度(7月31日まで)であるが、調査の過程で19年度以前の不適切な経理が判明した場合は、あわせて記載する。

「①研究者」は、個人名の記載は不要であるが、個人毎に「A」、「B」、「C」等の記載とする。

「②年度」は、特定出来なければ「不明」と記載する。

「③内容」は、「預け金」又は「プール金」を記載する。

「④財源」は、資金名、研究費制度や事業名等を記載する。特定出来なければ「不明」と記載する。

「⑤預け金、プール金をした金額」は、当該年度中に預け金又はプール金をした金額を記載する。

「⑥預け金、プール金の残金」は、平成23年7月31日時点の残金があれば、預け金、プール金毎に当該金額を記載する。ない場合は「無し」と記載する。

「⑦私的流用のあった金額」は、私的流用がない場合は「無し」と記載する。

「⑧備考」には、参考となる付記すべき事柄があれば記載する。なお、機関において外部へ公表済みであれば「公表済み」と記載する。

例示

①研究者	②年度	③内容	④財源	⑤預け金、プール金をした金額 (単位:円)	⑥預け金、プール金の残金 (単位:円)	⑦私的流用のあった金額 (単位:円)	⑧備考
A	17	預け金	不明	1,800,000	1,800,000	不明	業者の告発により判明。詳細は不明
B	不明	預け金	不明	6,300,000	6,300,000	不明	証拠書類がないため詳細は不明
C	20	預け金	科学研究費補助金	2,000,000	預け金	預け金	H21. 3月退職 H21. 3月公表済み
	20	預け金	キーテクノロジー研究開発の推進	2,400,000	3,200,000	無し	
	20	プール金	科学研究費補助金	500,000	プール金	プール金	
	21	預け金	キーテクノロジー研究開発の推進	3,000,000	180,000	180,000	
	21	プール金	科学研究費補助金	200,000			
D	22	預け金	私学助成金	300,000	無し	無し	
E	22	預け金	戦略的創造研究推進事業	4,500,000	2,000,000	459,990	他大学に異動
F	21	プール金	科学技術振興調整費	1,200,000			
	21	プール金	戦略的創造研究推進事業	800,000	160,000	189,990	
		H20以前の預け金	(年度不明、H17)	8,100,000	8,100,000	不明	
		預け金合計	(H20～22)	12,200,000	5,200,000	459,990	
		プール金合計	(H20～21)	2,700,000	340,000	369,990	